

平成 26 年 12 月 26 日

海事局 総務課 海事振興企画室

担当：岩下、池田

Tel: 03-5253-8946(直通)

03-5253-8111(内線 43-214, 43-215,43-216)

Fax: 03-5253-1642

## 第 3 回海洋観光・海を身近に懇談会の開催報告

標記懇談会を下記のとおり開催しましたので、その概要をお知らせ致します。

1. 日時 平成 26 年 12 月 25 日 (木) 13:10~15:40
2. 場所 「飛鳥Ⅱ」の船内コンパスルーム (横浜港大さん橋)
3. 出席者 別紙参照
4. 懇談会の内容



今回、クルーズの魅力と船上で味わうことができる楽しみ方等を題材として、新たな海の魅力に迫るべく、クルーズ客船「飛鳥Ⅱ」の船内で開催致しました。

- ① 懇談会前に「飛鳥Ⅱ」、懇談会後には「ぱしふいっくびいなす」の船内見学を実施しました。

予想以上の豪華な船は、まさしく動く「ラグジュアリーホテル」。船内には、数多くのレストラン、劇場、クラブ、映画館、大浴場、カジノ等の楽しむためのありとあらゆる設備があり、一日船内に居ても十分楽しめ、ゆったりリラックスできる空間であると実感しました。参加者の方々も「飛鳥Ⅱ」と「ぱしふいっくびいなす」の素晴らしさを実感し、「近い将来是非乗ってみたい」、「乗りたくなる魅力がたくさんある」といった感想が交わされました。

- ② 懇談会については、アスカクラブ会長の幡野様から、元飛鳥船長として世界を巡った体験談を活かした「クルーズ客船の魅力や楽しみ方」、瀬戸内海汽船(株)の仁田様から、同社が取り組んでいる「多島海である瀬戸内海でのクルーズの取り組みや魅力」、についてそれぞれ説明いただきました。

その後の意見交換では、「世界のクルーズ客船は、カジュアルからラグジュアリーまでクラスが分かれているが、日本では3隻しかないクルーズ客船が同等のクラスで競い合っており、客に選択肢がない状況である」、「小さな船では、水際の視界しか味わえないが、大きなクルーズ船では、他では味わえない海からの景観を味わえる」、「家族連れは、クルーズに参加される方が少ないが、3世代であれば参加される方が増えている」など、クルーズの問題や特徴的な魅力が取り上げられ、大変活発で有意義な船上懇談会となりました。

本懇談会の詳細は、後日、海事局のホームページで公開予定です。

[http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime\\_tkl\\_000051.html](http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tkl_000051.html)

写真や動画は、海洋観光・海を身近に懇談会 [facebook](#) で公開中！！

<https://www.facebook.com/umiwomidikanikonndannkai>

## 第3回海洋観光・海を身近に懇談会出席者

### (委 員)

- |                           |        |
|---------------------------|--------|
| ◎ 東洋大学国際地域学部国際観光学科准教授     | 矢ヶ崎 紀子 |
| (株) J T Bパブリッシング執行役員      | 楓 千里   |
| (株) 舵社 常務取締役              | 田久保 雅己 |
| きずなクリエイション                | なぐも 友美 |
| にいがた観光カリスマ フリーバスガイド       |        |
| 瀬戸内海汽船(株)代表取締役社長          | 仁田 一郎  |
| (一財) 漁港漁場漁村総合研究所第一調査研究部次長 | 林 浩志   |
| 東京都観光汽船(株)代表取締役           | 守谷 慎一郎 |
| <b>(その他)</b>              |        |
| アスカクラブ会長                  | 幡野 保裕  |
| 国土交通省海事局技術審議官             | 坂下 広朗  |
| 国土交通省海事局総務課長              | 河村 俊信  |
| 国土交通省海事局総務課海事振興企画室長       | 千葉 政俊  |
| 国土交通省海事局船舶産業課舟艇室長         | 宮武 宣史  |
| 国土交通省海事局外航課課長補佐           | 林 広之   |

※「◎」は座長